

作成日：R3年1月22日

令和2年度第7回 高松圏域自立支援協議会 運営会議議事録

日付	令和3年1月8日（金）
時間	11：15～12：00
開催会場	かがわ総合リハビリテーションセンター第1研修室
参加機関等	高松養護学校・高松市健康づくり推進課・高松市障がい福祉課・三木町福祉介護課・直島町住民福祉課・かがわ総合リハビリテーションセンター・障害者就業・生活支援センターオリーブ・発達障害者支援センター「アルプスカガワ」・地域生活支援センターこだま・支援センターこがも・相談支援事業所ライブサポートセンター・高松市社会福祉協議会訪問介護事業所・地域活動支援センタークリマ・高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 順不同 計15名

議題1：各部会等活動報告	
議事	<p>主な報告内容)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・こども部会：福祉サービスに関するアンケート集計作業中。1/6 高松市特別支援教育コーディネーターと高松市障がい者基幹相談支援センター、こども部会合同研修会実施。放課後等デイサービスや計画相談のことが特別支援教育コーディネーターには浸透してきていると感じた。</li><li>・医療的ケア部会：12月部会実施。来年度は高松圏域で50人ほど養成された医療的ケアコーディネーターと相談支援専門員の役割分担、母子保健コーディネーターとの連携などに取り組む。</li><li>・当事者団体・家族会連絡会：コミュニケーションボードについて高松市ホームページでは合理的配慮のページに掲載されている。三木町、直島町についても掲載依頼済み。</li><li>・居宅サービス事業所連絡会：居宅サービス事業所へのアンケート集計中（圏域内約70事業所中36事業所からの返答あり）。</li><li>・発達障害部会：高等学校在学中の発達障害がある生徒向けのガイドブック（SNSの利用について）作成作業中。</li><li>・地域生活支援拠点検討部会、就労支援部会、相談支援部会：資料参照 質疑応答)</li><li>・各部会等で地域課題が挙げられそれぞれに取り組みが起きているが最終的にはどのような形になっていくものなのか？</li></ul>

	<p>—地域課題は、部会等の会議のなかで挙げられたり、（今、こども部会と居宅サービス事業所連絡会が実施しているように）アンケートを実施した回答から挙げられたりしている。事業所の人材不足といった大きな課題もあり、すぐに妙案が浮かぶわけではないが、いずれにしても部会内で整理して部会内で取り組めるものは取り組み、内容によって運営会議で協議し行政や他部会の活動とも連携し進めていきたい。</p> <p>—市町の計画に反映させる仕組みが必要。</p> <p>—行政としてもできることは対応していきたい。</p>
決定事項	—
今後の動き	—

議題2：事務局からの報告	
議事	<p>主な報告内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定支援（1/4 午後）及び防災（1/8 午前）に関する研修実施。</li> <li>・1/6 高松市特別支援教育コーディネーター及び 1/8 スクールソーシャルワーカーとの合同研修会を実施。</li> </ul>
決定事項	—
今後の動き	—

備考	<p>三木町より</p> <p>庁舎内にパンフレット等置いて自由に見ていただけるコーナーを作ることになったので、各事業所等に三木町へパンフレット等をお送りくださるようお伝えしてほしい。</p>
----	--

作成日：3年1月20日

令和2年度第7回 高松圏域自立支援協議会 相談支援部会議事録

日付	令和2年12月17日(木)
時間	9:30~10:30
開催会場	かがわ総合リハビリテーション福祉センター 2階 第1研修室
参加機関等	支援センターこだま、あい、ほっと、りゅううん、クリマ、こがも、ライブサポートセンター、サンサン、ウルカ、おりがみ、EVEN、コンパスサポート、しのめ、自立ケアシステム、社協、ミルキーウェイ、AERU、ウェルネスサポート、We、かつが、きゃら、フリーダム、たかまつ、基幹中核 順不同 計26名

議題1：情報提供、お知らせ	
議事	<ul style="list-style-type: none"><li>・強度行動障害 Sv.派遣事業についてのパンフレット配布、周知</li><li>・全国相談支援ネットワーク研修会（WEB研修）について周知</li></ul>

議題2：計画相談の進捗状況等	
議事	<ul style="list-style-type: none"><li>・各事業所の受け入れ状況について 5か所受入れ可</li><li>・サービス導入が困難な事例について相談</li><li>・コロナ感染症が原因で困っていること等の共有</li></ul>

### 議題3： 地域課題への取り組みについて

議事

・コア会議で検討した内容について報告

各課題のメンバー募集中。

必要に応じて相談支援事業所以外にも参加を募ることを確認。

### 議題4：研修等お知らせ

議事

・高次脳機能障害講演会のお知らせ

・知的障害者支援部会地域移行WGメンバー募集について

・「保健・医療・福祉の支援者交流ワークショップ（第4弾）」に参加

しての感想

高松市・直島町地域生活支援拠点事業緊急時対応合同研修会（生活介護事業所・短期入所事業所・計画相談事業所）

目的)

地域生活支援拠点事業で整備を求められている 5 項目の一つである「緊急時対応」について、計画相談支援事業所とサービス提供事業所が協力し、ご本人・ご家族と協議をしながら対応を考え準備をすることができるようにする。

対象者)

- ①高松圏域内に所在する生活介護事業所、短期入所事業所のサービス管理責任者等
- ②高松圏域及び高松市に隣接する市町（さぬき市・坂出市・綾川町）に所在し、高松市をサービス提供範囲と定める計画相談支援事業所相談支援専門員

\*各事業所 1 名の参加とさせていただきます。

別紙資料 1 に対象事業所

日時・場所)

令和 3 年 3 月 1 日（月） 10：00－12：00

3 月 8 日（月） 10：00－12：00

3 月 8 日（月） 13：30－15：30

3 月 22 日（月） 10：00－12：00

\*上記 4 回のうちいずれか 1 回にご参加いただく。参加希望日を第 2 候補まで記入いただき参加人数を調整する。どうしても日程が合わず参加できない事業所には年度明けにもう 1 回企画するか個別に訪問・説明。

\*場所はいずれもかがわ総合リハビリテーション福祉センター第 1・第 2 研修室。

内容)

時間	内容	担当
5 分間	開会 オリエンテーション	
30 分間	地域生活支援拠点事業についての講義	
50 分間	事例紹介 事例を通じて緊急時対応（プラン作成・担当者会議等）のポイントを説明	
15 分間	緊急短期入所受け入れ加算・地域生活支援拠点等相談強化加算・短期入所緊急時登録事業（別紙 2）についての説明	
10 分間	質疑応答	
10 分間	閉会 机イス消毒, 片づけ	

申し込み方法)

別紙申し込み方法に必要事項（参加希望日を第2候補まで記入）いただき、FAXかE-mailで中核拠点まで申し込みいただく。

周知)

高松市内に所在する事業所には高松市障がい福祉課より一斉メール送信にてご案内いただく。高松市に隣接する市町に所在し、高松市をサービス提供範囲と定める計画相談支援事業所には個別に電話やFAX、メールなどで周知する。

案内状は市障がい福祉課と協議会連名で作成する。

新型コロナウイルス感染症対策)

- ・マスクの着用をお願いすること・会場入り口での検温の実施（37.5度以上の方には参加をご遠慮いただく）・体調不良の際の欠席励行を事前周知
- ・会場手指消毒用液の準備
- ・研修を通じて、講義形式での実施・換気の実施
- ・密を避けるため両室合わせて100名の部屋を50名以下で使用、3人用机を1人で使用
- ・状況の変化による開催中止の可能性を事前周知

令和3年1月4日(月) 2020年全国相談支援ネットワーク研修会  
「意思決定支援に関する研修」 アンケート結果

問1 本日の講義はいかがでしたか？

とても良かった 7人(46.7%) 良かった 8人(53.3%)  
あまりよくなかった 0人(0.0%) 良くなかった 0人(0.0%)

問2 本日の講義を受講して、高松圏域の実践において参考になる点はありましたか？

あった 15人(100%) なかった 0人(0%)

(具体的な内容)

- ① これまでにも同様の研修を受けたことはあるが、より連携が重要だということを再認識した。もっと多くの支援者にも受講して欲しいと思った。
- ② 「本人を支えるチーム作り、相談支援専門員を支えるチーム作りが必要」という言葉にはっとさせられた。意識して取り組んでいきたい。
- ③ チームを支えるチームの必要性を感じた。
- ④ 実際にあるチームとそれを支えるチームでチームを作る必要性を感じた。モデル的に取り組んでみたい。
- ⑤ 意思決定支援をチームで行うことをサービス提供事業者と共有したい。また、利用者の情報をチームで持ち寄ることの大切さも伝えていきたい。
- ⑥ 相談支援専門員のみではなく、サービス提供事業所、家族も足並みをそろえる必要性があると思ったので、できることから少しずつでも共有していきたい。自分自身も意思決定支援について理解を深めたい。
- ⑦ 意思決定支援を通して第三者からの相談支援専門員への評価、指導体制が整えればと思う。
- ⑧ 事業所全体に意思決定ガイドラインの周知が必要。
- ⑨ 意思決定支援を導入する前の準備期に時間をかけ、深める必要性を感じた。
- ⑩ 意思決定支援専門アドバイザーのような教育的機能、支持的機能を果たせる外部チームの存在が必要であると思った。
- ⑪ 行政を巻き込んだ意思決定支援体制の構築を図るべき
- ⑫ 今まで自分が思っていたアセスメントでは、まだまだ足りない情報があることが分かった。生活歴を含め厚みのあるものにしたい。
- ⑬ 現在のアセスメント(計画相談)においては、香川県のアセスメントシートを用いて自選しているのが、意思決定支援やストレングスモデルの展開においては、必ずしも十分とは言えない。個々の事業所で様式を見直し(追加等)は認められているものの、今後意思決定支援に重点を置いたケアマネジメントのためには、そもそも

常に用いているアセスメントシートを見直してもいいのではないか？県様式に加える形にすれば業務負担が軽減される。

- ⑭ 入所施設や精神科病院の職員ともこの内容を共有したい。
- ⑮ 意思決定支援を行うには、本人の意思を実現するためには一人の支援者また、一事業所だけでは限界がある。そのため、色々な機関と連携する必要がある、また、それを俯瞰する役割も必要。
- ⑯ 誰のための支援なのかチームでかかわり共通認識を持ち支援がうまくいかなくなると何度も原点に立ち返ることが必要。だが、それが難しいことを相談支援以外の人にも知ってほしい。



作成日：令和2年12月24日

令和2年度第4回 高松圏域自立支援協議会 就労支援部会（広報・調査委員会）議事録

日付	令和2年12月14日（月）
時間	13:30～14:30
開催会場	かがわ総合リハビリテーションセンター 第2研修室
参加機関等	障害者就業・生活支援センターオリーブ、障害者就業・生活支援センター共生、相談支援センターりゅううん、あじさい、サスケアカデミー、ラ・レコルト高松瓦町、ヒトトコ、働く場、かがわりハ 順不同 計10名

議題1：発達障害のある高校生の就労支援に関して	
議事	○高校に対するアンケート結果の中間報告
決定事項	○アンケート結果集約していく。
今後の動き	○現時点で高校側から「急ぎ相談はない」とのことだが、集約後、どのように広報していくか検討する。
議題2：就労移行支援事業所ガイドブック改定	
議事	○内容を検討していく。
決定事項	○内容についてほぼ決定した。1月中旬を目標に各就労移行支援事業所に原稿依頼、完成を令和3年3月とする。
今後の動き	○原稿依頼、集約し、まとめていく。

令和2年度第4回 高松圏域自立支援協議会 就労支援部会（イベント委員会）議事録

日付	令和2年12月14日（月）
時間	13:30～14:30
開催会場	かがわ総合リハビリテーションセンター 第1研修室
参加機関等	高松市、ハローワーク高松、香川障害者職業センター、香川県立高等技術学校、障害者就業・生活支援センターオリーブ、障害者就業・生活支援センター共生、Doやまびこ、ワイワイ創造館、障害者地域生活支援センターほっと、香川県立川部みどり園、くすがみ、竜雲あけぼの学園、かがわ総合リハビリテーションセンター 順不同 計14名

議題1：第9回しごとサロンたかまつについて	
議事	○現在の申し込み状況 ○会場配置（案） ○受付（入口）での対応について確認

<p>決定事項</p>	<p>○受付（入口）での対応          ・流れ…マスク着用確認・手指消毒→受付（確認事項に沿って）→記入台へ</p> <p>○開催中止の可能性について          感染者が増えているため、状況によっては中止する。</p>
<p>今後の動き</p>	<p>申込締切後の対応          ・12月28日締め切り→1月4日～8日に電話（メール）連絡（古藤）→1月8日9日にはがき発送</p>